



**あなたが感染すれば、
パートナーにも感染します。**

平成 29 年 11 月 8 日
富山県感染症情報センター
(直 0766-56-5431)
(直 0766-56-8142)

感染症発生動向速報

(平成 29 年第 44 週分・10 月 30 日～11 月 5 日)

《 インフォメーション 》

●梅毒

平成 29 年の県内の梅毒報告数は 11 月 7 日現在 13 件 (男性 8 名、女性 5 名) です。全国では平成 22 年以降、報告が増加しており、女性は 20 歳代、男性は 20～40 歳代が多くなっています。(図参照)。

梅毒は、梅毒トレポネーマ (細菌) を原因とし、性的な接触 (他人の粘膜や皮膚と直接接触すること) などによってうつる感染症です。症状の進行は次の 3 期に分かれており、**様々な症状の出現と消失を繰り返します。**

- 第 I 期 (感染後約 3 週間) : 感染部位の皮膚や粘膜に 5 ～ 15 mm くらいの硬結ができますが、2～3 週間で消失します。
- 第 II 期 (感染後数か月) : 全身に赤い発疹 (バラ疹) が出現します。他に発熱や全身倦怠感、関節痛など様々な症状が出現しますが、数週間～数か月で消失します。
- 晩期頭症梅毒 (感染後数年) : 皮膚や筋肉、骨などにゴムのような腫瘍 (ゴム腫) ができ組織を破壊します。また、心臓、血管、脳などの複数の臓器に病変が生じ、場合によっては死亡に至ることもあります。

早期頭症梅毒 (第 I 期と第 II 期) の段階は人から人へうつりやすく、予防の上で重要となります。また、妊娠している人が感染すると胎盤を通して胎児に感染し、死産、早産、新生児死亡、奇形が起こることがあります (先天梅毒)。梅毒は抗生物質で治療できるため、早期発見、早期治療が重要ですが、まずは感染しないことです。**性感染症予防としてコンドームの使用をお勧めします。**

《 全数報告の感染症 》

- 二類感染症 結核 1 件 (60 歳代、女性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 件 (10 歳未満、男性、血清型不明、VT1,VT2)
- 四類感染症 E 型肝炎 1 件 (50 歳代、男性)
レジオネラ症 2 件 (①40 歳代 ②60 歳代 ①②共に男性、肺炎型)
- 五類感染症 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 件 (90 歳代、女性)
梅毒 1 件 (第 38 週診断分 : 30 歳代、女性、早期頭症梅毒 II 期)

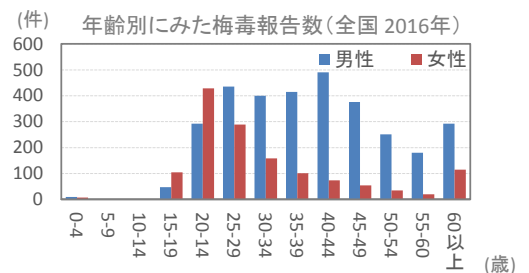
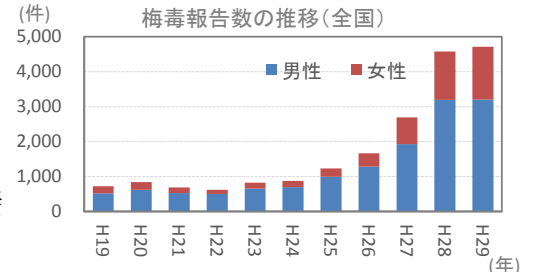
《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患

順位	疾病名	定点あたりの数		
		今週	先週	増減
1 位	感染性胃腸炎	4.55	5.03	↓
2 位	手足口病	1.34	1.24	↑
3 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.79	2.14	↓
4 位	R S ウイルス感染症	0.76	0.62	↑
5 位	ヘルパンギーナ	0.59	0.48	↑
6 位	咽頭結膜熱	0.55	0.83	↓

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます

アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>



○感染症発生動向調査報告状況（平成29年第44週 平成29年10月30日～平成29年11月5日）

分類	疾患	今週報告分（第44週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核					1	1	17	5	46	13	79	160
三類感染症	細菌性赤痢									1		2	3
	腸管出血性大腸菌感染症			1			1	2	14	2	13	32	
四類感染症	E型肝炎					1	1					1	1
	A型肝炎							2				1	3
	つつが虫病							1					1
	デング熱											3	3
	レジオネラ症					2	2	5		9	2	18	34
五類感染症	アメーバ赤痢							1				4	5
	ウイルス性肝炎							1					1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症							2			4	2	8
	急性脳炎											2	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病											2	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症								1	2		5	8
	後天性免疫不全症候群									1		7	8
	ジアルジア症							2		1			3
	侵襲性インフルエンザ菌感染症			1			1		2	1	2	2	5
	侵襲性肺炎球菌感染症							5		5	2	18	30
	水痘（入院例）									1		1	2
	梅毒							1		4	1	7	13
	播種性クリプトコックス症											2	2
	麻しん											1	1
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ				4	2	6	1,886	1,368	2,457	1,565	3,433
					0.57	0.13	0.13						
RSウイルス感染症		2		3	3	14	22	74	77	276	194	732	1,353
		0.50		0.38	0.75	1.40	0.76						
咽頭結膜熱		2	4	5		5	16	101	55	233	65	219	673
		0.50	1.33	0.63		0.50	0.55						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4	2	10	2	5	23	153	61	769	242	755	1,980
		1.00	0.67	1.25	0.50	0.50	0.79						
感染性胃腸炎		26	14	19	4	69	132	1,479	898	1,403	576	3,183	7,539
		6.50	4.67	2.38	1.00	6.90	4.55						
水痘				2	2	2	6	7	34	93	38	128	300
				0.25	0.50	0.20	0.21						
手足口病		2	4	9	8	16	39	258	197	1,129	281	1,076	2,941
		0.50	1.33	1.13	2.00	1.60	1.34						
伝染性紅斑								1	1	5	1	18	26
突発性発しん		1		3	1	5	10	47	31	182	68	127	455
		0.25		0.38	0.25	0.50	0.34						
百日咳										2			2
ヘルパンギーナ		1	2	4	9	1	17	48	44	248	108	134	582
		0.25	0.67	0.50	2.25	0.10	0.59						
流行性耳下腺炎		1				2	3	165	70	418	78	365	1,096
		0.25				0.20	0.10						
急性出血性結膜炎										3	2	1	6
流行性角結膜炎			1	2			3		4	231	24	8	267
			1.00	1.00			0.43						
細菌性髄膜炎							1				1	2	
無菌性髄膜炎							1				4	5	
マイコプラズマ肺炎			1		1	2	9	3	18	11	21	62	
			1.00		1.00	0.40							
クラミジア肺炎							1	1		1	3	6	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							10		15	21	12	58	
インフルエンザによる入院患者（*）				1		1				4	2	6	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成29年第36週(9月4日)～の集計です。